

MAIN POINT

「やさしすぎる」ことに注意。ちゃんと相手のレベルと対応を合わせましょう。



解説:

イラスト・バイ・ケビン

- ・日本語があまり話せない外国人にレベルを合わせることは大事ですが、「やさしすぎる」と相手に必要な情報を十分伝えることもできないし、相手が「子ども扱いされている」と思うかもしれません。
- ・相手のレベルを最初だけで判断するではなく、会話の間で定期的に相手が理解しているかを確認することがおすすめです。(参考: やさしい日本語ガイド VOL7)
- ・「日本語、上手だね!」「日本語、書けますね!」は親切と考えているかもしれませんが、また「子ども扱い」と相手に思われるかもしれませんので、避けた方がいいです。